

# 議会活性化 特別委員会会議録

令和6年11月22日(金)午前10時00分  
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

# 議会活性化特別委員会

日 時：令和6年11月22日（金）

午前10時00分～

場 所：3F 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

1) 議会基本条例の検証について

・検証・評価シートについて

2) 議会報告会（意見交換会）について

・開催に向けての協議

3) その他

4 閉 会

### 出席議員（9名）

|     |       |     |            |
|-----|-------|-----|------------|
| 1番  | 鬼田岳哉君 | 2番  | 宮内勇二君      |
| 3番  | 戸田大我君 | 4番  | 内田和彦君      |
| 5番  | 山崎晴生君 | 6番  | 真家功君（副委員長） |
| 7番  | 香取憲一君 | 10番 | 鈴木俊一君（副議長） |
| 13番 | 谷仲和雄君 | 14番 | 長島幸男君（議長）  |

### 欠席議員（1名）

11番 村田春樹君（委員長）

---

### 議会事務局職員出席者

次長 須賀田千恵子

## ◎開議の宣告

○副委員長（真家 功君） 皆さま、おはようございます。

ただいまから議会活性化特別委員会を開催いたします。

本日は委員長が欠席ということですので、わたくし副委員長のほうで進行をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## ◎協議事項

### 1. 議会基本条例の検証について

#### ・検証、評価シートについて

○副委員長（真家 功君） それでは、協議事項に入ります。

協議事項の1番として、議会基本条例の検証についてということでございますが、これについて説明させていただきます。

検証シートがございますが、これを再度前回話が出ました理由、今後の対応方針これらについて、評価に合った内容にしていこうということで、いくつか直させていただきました。

特に理由ですね、評価D以外については再度見直しまして、ある程度分かり易く肉付けしたところがございます。

まず1枚目が2つともDなので、D評価についてはこのような形にします。2枚目以降がB評価、C評価がございます。それについてはある程度、特に理由について直させていただいたというのが現状であります。ざっと見ていただきまして、皆さんで気付いた点があれば、1枚ずつやっていきますか、3条から直させていただきました。

3条、4条ということで見ていただいて、例えば3条元々はB評価になっていまして、開かれた議会を目指していることに相違はないということだったんですが、これを公平性、透明性等を確保するため、重視して活動している。というふうに直しております。

3条（3）これについてB評価の常に検証を行っていなかったため、現在検証中であるというのを今のように、議会活動を通し常に検証を行っている。というふうに直しております。

3条（4）これは傍聴意欲が高まる工夫が十分でないということだったんですが、政治的な意識を高める傍聴意欲に繋がる工夫が十分でない。というふうに直しております。

5条の2会派というところですが、会派からの政策立案・提案に繋がっているかは疑問だが

という言葉があったんですが、繋げるためということで、繋がっているのに疑問だなというのが引っかけたものですからこの辺を直しております。あと今後の対応方針です。個人の責任においてとか色々あったのですが、簡単にカットしながら直しているというような状況です。

6条、1、C評価のところなんです、議会ホームページ、議会広報の発行・周知、今後の議会報告に向けて一定の説明責任を果たしているが、一方でどうのこうのと入っていたのですが、分かりやすい手法には不十分な点もある。という形に直しております。それと今後の対応ですが、分かりやすい情報の提供に努める。ということで、長かった部分を短くしております。

あとは6条の2、元々は現状のこのような機会は少ないということだったんだけど、専門的又は政策的意見等を得られる機会が少ないため。というふうに直しております。

6条の3、まずここは概ね実施されているということだったんですが、提案者の意見を聞く機会を設けているに直しております。

次が8条になります。8条で十分な理解を得られようという言葉を使っていたのですが、分かりやすいとか少し簡単にしております。それと今後の方針についても、今まで現状の広報体制できるよう全力を尽くすとか色々意見が付いていたんですが、そういったものを省いて短くしているというような感じですね。

次に9条(2)について、元々反問権を行使する状況は見られていないということだったんですが、見られていないが行使する制度はできている。と直しました。

次に11条になります。開かれているのかは疑問というのが最初のやつだったんですが、公平性、透明性の取り組みが十分でないというふうに直しております。それと同じく今後の対応方針についても、開かれた議会を目指すというふうに直しましたが、元々はどのようなことが開かれた議会運営なのか色々書いてあったのですが、簡単にしたということですね。

次が11条の5、改革に終わりはないということ、委員会はそれぞれの設置の目的に応じた機能は発揮しているが、市民に開かれた運営には公平性、透明性は不十分である。ということで直しております。同じく今後の方針についても元々は改革し続ける姿勢が大事。ということだったんですが、それを市民に開かれた議会運営を目指していく。というふうに直しております。どのように直したかというふうに作ればよかったんですがごめんなさいね。

あとは19条の1、具体的な実施計画が整備されていないため。というふうに直しているんだけど、これについては現状災害時に招集されたことはほとんどないとか色々あったんですが、簡単に直したということでございます。あとは日頃の点検が大切というのが今後の方針にあたっているんですが、これはカットしたのかな。

○**議会事務局次長（須賀田千恵子君）** はい。

○**副委員長（真家 功君）** 以上ごめんなさい、直したところが説明しないと分からないような状況だったんですが、今日は委員長と事務局とわたしのほうで再度、特に理由と今後の対応方針について精査をしたところでございます。これについてはここでどうのこうのというのも難しいでしょうから、見てもらってまたアドバイスしていただければと思います。それとこの委員会の決定事項については、委員長が代表して議運に伝えているわけなんですけど、なんか議運のほうであまり分からないという意見も出ているらしいので、その辺議長いいですかね現状。（２）の議会報告会について余り分からないというふうに言われたのかな。でも我々の委員会は、委員長が報告しているので委員長にお任せしているような状況なので、委員長は分かっているんですよね。

○**議長（長島幸男君）** だから確認しようと思ったら今日来ていなかったから、委員会の前によく確認とっていないんです。

○**10番（鈴木俊一君）** 議運の議事録確認したほうがいいですかね。

○**議会事務局次長（須賀田千恵子君）** 議運では伝えてはいます。

○**10番（鈴木俊一君）** 通ってはいるんですね。

○**議会事務局次長（須賀田千恵子君）** 報告という形で。

○**議長（長島幸男君）** 議事録には載っているわけ。

○**議会事務局次長（須賀田千恵子君）** はい。

○**議長（長島幸男君）** だからあとは聞いていないという、この間の視察研修のときの話の中でその話しがちょっと出たのかな。そのときに聞いていないという、議員のほうで1、2名いたんですよね。でも、それは飲んだ席だったからそれはまたあとで確認という形でそのままになってたんだよね。その後わたしのほうもよく委員長のほうでその議員とも話してという話しにはしておいたんですが、今日は委員会の前にこの件どうなったか聞こうかなと思っていたのですが、今日来ていないということで、まだその確認はしていないんです。

○**副委員長（真家 功君）** いずれにしても議運に報告するのは委員長なので、その辺はもう一度確認をしたいと思います。色々議運のほうで意見が出ているみたいですね。あまり慌てて議会報告会とかいろんなことを進めなくてもいいんじゃないかとか色々あったみたいですね。そういうがあるので、年度内にワールドカフェ方式でやろうとして我々は検討していると思うのですが、それも元々はこの委員会でやるということが議員の中では議員全体でやるということに決まったことなので、それは議員全体はいいことだと思うのですが、時期につい

てもいろいろ意見があるということなので、最終的には我々の委員会での意見を議運にはかって皆さんに検討してもらってそのように今後進めるという形にしたいと思います。

谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** こういう状況であれば、議会報告会というものを主催は小美玉市議会ですけど、運営とかも議運にお任せするという形を提案するのですがいかがでしょうか。

**○副委員長（真家 功君）** そもそもなんですが、活性化委員会のほうに振られるような形なのかな。

谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 活性化委員会のほうで、こういう案で議運にはかりますよね。活性化委員会はこういう形でどうでしょうというそのところで提案して、あと議運のほうで小美玉市議会主催の議会報告会を進めていただくと。そうすると、ああでもないこうでもないという今のちぐはぐなやり取りがなくなるのではないかとそう思います。

**○副委員長（真家 功君）** 今谷仲委員からそういう意見が出たのですが、皆さんもわたしも納得していないんですけど、ただ議運のほうとしても委員会からこのような提案があったので、みんなで検討してはどうでしょうというような流れに今議長になっているんですかね。

ですけど、最終的には議会報告会は議会がやるべきことなので、決定事項は議運でもいいと思うんだよね。ただ提案は我々委員会がしていくという形になるんですかね。最終的に見えなところがあるかと、今日はじめて議運のほうで色々意見があるということを知ったので、たまたまこういう話しになったのですが。

長島議長。

**○議長（長島幸男君）** 私もずっとここ議会報告会やっていなかったもので、谷仲議員前は主催はどこでやっていたんだっけ。

**○副委員長（真家 功君）** 谷仲委員。

**○13番（谷仲和雄君）** 主催はあくまでも小美玉市議会ですが、段取りと運営、ほぼ議会改革推進特別委員会が全て段取りから実際から進めていたところなんです。それで、議会改革推進特別委員会を廃止に伴い、その受け皿はどこだっけなときに議運でやりますという当時の議長が議運でやると。そこから要綱は変わっていないと思います。その要綱に基づいて今やっている形ですから、やり方としては無理が出てくるかなという感じじゃないですかね。そういうところです。

**○副委員長（真家 功君）** 長島議長。

○議長（長島幸男君） 今お話し聞いて議会報告会というのは議会でやるということなんです、元になる委員会とかそう協議会というか、そういうものは前は今言った議会改革推進特別委員会これでやっていたわけですよ。ですから議運でやっていたわけではないんですよ。

○副委員長（真家 功君） 谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 当時議会改革推進特別委員会からこういう形でやりたいと、議運の報告事項で進めていました。報告事項です、協議事項ではないです。

○議長（長島幸男君） みんなに話聞いて。

○副委員長（真家 功君） それぞれ意見のほう。

香取委員。

○7番（香取憲一君） わたしもこの前の議運の視察研修参加していたので、いろんな委員長とのやり取りを脇で聞いていたんですけど、ことの発端というか色々自分なりに整理して、ワールドカフェ方式でやりましょうとここである程度もんだんですけど、具体的に2月ということだけが決まっていて、あとは具体的に細かいことはこれから決めなくてはいけないことだったわけじゃないですか。だけどもほとんど具体的なことが決まっていない時点で9月の全協でこういうこと考えてやりますのでご協力くださいで終わってしまって、具体的なことが何も、そのあとの進捗状況も含めてフォローというか、そういうところも恐らくなされないままに先月も10月も特別委員会が繰越になってしまったので、具体的なことが進まない中でいきなりポーンと来年、12月議会はじまる直前になって2月にやりますよという話しが改めて耳に入ってしまったので、みんなそんな具体的なこと何も聞いていないよとなっちゃったんですよ、という形ですね。

○副委員長（真家 功君） 2月にやるということが先行してしまったということですか。

香取委員。

○7番（香取憲一君） 本来は議運にある程度あげるまでにしても、こういうふうな形でこういう感じでいきますとある程度具体論的に説明できる状態であげて中間報としても。だから皆さん協力してやってくださいよというところがすぼんと抜けちゃっている今状態だと思うんですよ。多分9月の全協でこういうのやる予定ですよと言ったあとおそらく細かいフォローまではいってないからみんな聞いてないよとなっちゃったと思うので、多分そうだと思います。

○副委員長（真家 功君） そういう意味での聞いていないなの。

○7番（香取憲一君） おそらくそうですね。

○副委員長（真家 功君） 具体的に聞いていないという意味だね。

○7番（香取憲一君） だって決まっていなくて、委員会先月もやっていないし。

○副委員長（真家 功君） 内田委員どうでしょうか。

○4番（内田和彦君） 今の話聞くと、我々で一生懸命何回か皆さんと意見交わしているんな意見が出て、その辺のところは上にあがってやるやらないという話しだと、しっかりきちんと上のほうで話し合っていて、納得してもらって途中で話がなくなっちゃうとかそれはないと思いますけど、そういうふうになっちゃうと一番怖いので、そういうのをしっかり話し合いしてもらって、今やっていることを前に進めることを考えていったほうがいいと思います。

○副委員長（真家 功君） 宮内委員。

○2番（宮内勇二君） 前日も言ったんですけど、委員長のほうから前か前のときに議運にかけてということで、それがまだ伝わっていないように感じもして、分かっていないということなので、現状で取り急ぎ2月に強行してやる必要性はないのかと。もっとしっかり話を詰めてからのほうがいいと思います。

○副委員長（真家 功君） 鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） 委員長同士の議運の中でのこの議会改革の委員長と他の委員長とのコミュニケーション不足かなと情報交換も含めてがあって、お互いの本人は伝えたと思っているかもしれないけど、聞いているほうでは伝わってなかったのかなというのを感じているので、2月にやるにしてもやらないにしても情報交換をもっとしたほうがいいのかなという感じがしています。それを踏まえて、2月にこだわらずにみんなコミュニケーション取れればうまくいくと思いますので、まずは情報交換が先だと思います。

○副委員長（真家 功君） 山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 議運でどんなことを報告しているのか自分たちには分からないんですが、ある程度時間をつくって特別委員会のこの時間もつくってきているところで委員長がずっと不在であるところで、正直な話この報告会のほうを2月にやってもしっかりしたものが市民と意見が交換できるしっかりとしたものでないのであれば、2月に強行してということは、自分としたら不安要素ばかりなので、時期的なところは見直してもいいんじゃないかなというところと、活性化特別委員会自体のあり方自体をしっかりと考えていただければと思います。

以上です。

○副委員長（真家 功君） 戸田委員。

○3番（戸田大我君） 皆さんの意見、全員参加ということなので、皆さんの気持ちとかをまとめていかないと、いいものがないんだろうなと思っているので、コミュニケーション

とりながらやっていく必要があるんだろうとあっていて、2月だともう時期的に厳しいのかなと感覚としてはあるので、そこも詰めて委員長を中心にやっていただければと思っておりますが、議会活性化委員会の目的としてこの1年か2年の間で何をやるのかなというのもここまで来ましたが、もう少しいろんなことやれるんだろうなと思ってはいたんですけど、今の進捗状況だともう少し考えるところがあるのかなと思います。

○副委員長（真家 功君） 鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 時期に関しては2月にこだわる必要はないですし、中途半端なものを市民に見せても議会何やっているんだとなるんで、先伸ばしにしたほうがいいと思います。非常に会議録に残るとまた難しい話なんですけど、委員長からすると全協の会議録わたし見たんですけど、話はしてんですけど根回しが全くできていないというか、簡単に言うと仕事できていないんですよ。ちゃんとこういうことやってこういふにやりますよお願いしますねと根回し段取りができていないんですよ。正直どうなっているのという話しですよ。2億円議会にはある中で、こんな低レベルな会議であつたり、情報共有ができていないとかそんな話をしている時点でほんとに悲しいことだとわたしは思います。

以上です。

○副委員長（真家 功君） 皆さんに率直な意見を今お伺いしました。これまで色々進めてきた中で、やはり皆さんの意見を聞いて直すべきところは直していきたいと、これがほんとなのかなと。なので、今本当に考えると、今の議会活性化特別委員会の進捗状況を考えると、特に2月に議会報告会をやるというのは、特にそこにこだわらなくてももっと準備万端にしてから進めるべきかなというふうに私も思いますので、この2月についてはもっと柔軟に考えていこうというような形にしていきたいと思います。委員長来たときには、その辺を委員長のほうには今日の会議でこういうふうに意見があつたと、なので再挑戦しましょうというような形に進めたいと思います。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） さっきの箇所です1つ、これは活性化の委員長が議運で報告するところなんですけども、この活性化委員会の中に議運のメンバー何人いますか。そのメンバーのほうはここで決まったところとか共有しているはずなので、会議の中でそこら辺の委員長が不足であればフォローという形がないと、この活性化委員会の中に議運のメンバー何人います。

○7番（香取憲一君） わたし。

○副委員長（真家 功君） 一人。

○10番（鈴木俊一君） 何人いますって聞かないで自分で考えればいいじゃん。それは人を馬鹿にしているからね。

○13番（谷仲和雄君） ですから、そういうふうに議運の中でも積極的にどんどん、これ意見交換というか対話の部分ですよね。違う考え方がもしあった場合どうやってそこを合意形成はかっていくかという対話の部分が少しないような印象を持ちます。現に議運に入っている方いらっしゃると思いますよね。そここのところをわたしとしては議運の会議の中でどういうやり取りをしているかという、そういうところを思いますね。それだけ言わせてもらいます。

○副委員長（真家 功君） 意見としてですね。

香取委員。

○7番（香取憲一君） この前の研修先で伊万里市だったんですけど、非常にいい参考案が、それは村田委員長だいが質問してかなり質疑で聞いていましたけど、議会報告会をやるについてファシリティー研修というのを伊万里市でやったと、これ非常にいいなと思って。

○副委員長（真家 功君） ファシリティー研修。

○7番（香取憲一君） ファシリティー研修って、中々我々議員って話すことばっかで人の話を聞く耳を養いましょうという研修の機会を設けたという、意見交換をやる前に。それは非常になるほどなという参考意見、勉強になったなという思いがあるので、そういうことも含めて仮にこれから色々進めるにしても、そういう研修を我々も勉強してやっていくというのも1つの準備の段階での方法かなというふうに思いますので、これは村田委員長も聞いていますので。

以上です。

○副委員長（真家 功君） 今香取委員のほうからファシリティー研修、それも凄くいいことだなと率直に思ったんですけど。

○7番（香取憲一君） 勉強になりました。

○副委員長（真家 功君） 聞くあれね。

○7番（香取憲一君） そうです。

○副委員長（真家 功君） そういうのも必要なのかな。いずれにしてもこのスケジュールについては再度検証するという形で進めさせていただきたいと思います。

1番目の基本条例の検証については、それぞれもう1度皆さん資料見ていただいて、気が付いたら事務局のほうに言っていただいて、再度委員長わたしと調整をするという形にある程度直したつもりなんだけど、中々みんなの目でというときにここはというのもあると思うんだよ

ね。その辺をそういった形に1番については進めさせていただきたいと思います。

---

◇

## 2. 議会報告会（意見交換会）について

### ・開催に向けての協議

○副委員長（真家 功君） 2の意見交換会についてなんですが、これについては実は委員長以下事務局の打合せの中では、ワールドカフェ方式というものが、例えばグループ分けして議員が何人、例えば1人じゃだめなのを1テーブル2人必要じゃないとか色々出たので、そのときは委員長も欠席だったのかな、そういうふうになったよと話をしたときに、委員長の持論があって、ワールドカフェ方式とはこういうものなんだと、だから1人でいいんだという意見があったのね。それは俺も今日の機会にもう一度ワールドカフェ方式というのを、ただ20人の議員が出るという前提でそれをもう一度分かるように説明したらいいんじゃないのかということと言ったんだけど今日欠席なので、なんか委員長と確かにワールドカフェ方式は委員長が一番よく知っているような感じなんだけど、ただ20人の議員が全員出るということに変わったので、これはやっぱりテーブル何テーブルできるか分からないけど、別にテーブル1人にこだわる必要はないんじゃないかという意見をわたしのほうで言ったのですが、なんだかそこら辺がなんかあるみたいなんだよね、ワールドカフェ方式というやり方に対して。そこら辺を今日本当はもう1回説明してくれということだったんだけど、皆さんこのやり方正直言って、PTAを中心に声かけしようということだったんだけど、どうも議運の中ではPTAじゃないだろ、まずは区長だろうというような意見も出ているらしいんだよね。その辺も我々聞いていなかったんで、そういうふうに言われているみたいなんです。だからそこら辺の声かけについては、PTAにこだわらず皆さんに声かけるんだけど、一番PTAあたりがあれなのかなということとPTAという話しをしたわけなので、その辺議運でも意見があるみたいなんです。その辺も調整しながら今日議長もそんなこと言うものだからね。そもそもワールドカフェ方式が最初このメンバーでやるということから、20人全員でやるというふうになったんですよね。これは全員でやるということになったので、20人出るというイメージでグループ分けせざるを得ないと思うんだよね。人数がそんなに集まらないような気がするんだよね、いくら声かえても。

○1番（鬼田岳哉君） それを言ったらおしまいですよ。

○副委員長（真家 功君） だから1テーブル2人いても問題ないのかと思いました。2人いても10テーブルだから20テーブルでも中々難しいのかなと。

鬼田委員。

**○1番（鬼田岳哉君）** 取り敢えず我々が数回の会議を重ねてきて出してきた1つの案として委員長にボールを持っていただいて、議運で話していただいていることなので、ボールを持っていただいているのであれば、それを通すところは通していただきたいなということを伝えていただければと思います。わたしPTAでも構わないと思うんですよ。それで議運の中で調整いただくんですけど、それを放棄しないように是非お願いしたいなと。そうすると我々の今までの会議がなんだったんだとなってしまうので。もう一方時間ができそうなのであれば香取議員から話あったように、ファシリティーの点を取り入れてもらったり、そういったことを進めてもらえればいいなと思っております。この場で今日その話で決められることってあるのかなと思うんですけどどうですか。

**○副委員長（真家 功君）** やり方のことなんだよね。もっと具体的になって議員が何人出席してこういうふうやって何人出席できるかなということで、各テーブル何人置こうかというのが正直最終的なことでもいいと思うんだよね。その辺がもう1回ワールドカフェ方式をもう一度説明したいということだったので委員長それは任せるよということだったんです。ただ今日いないので、今までの流れでやることにして、具体的になったらいつでも決められることかなと思います。

**○副委員長（真家 功君）** 香取委員。

**○7番（香取憲一君）** 2月1日にやると日にちは決まっていたじゃないですか。なので、わたしも個別に子育て世代の皆さんに、こういう会があるんですけどどうですかと聞いたら、5人声掛けて3人はもう是非参加させていただきますと、楽しみにしていますとそういう中々ない機会だからというふうに言っていたいたんですね。参考までなんですけど、いかに皆さんがママ友だけで話すことだとか、何とかセンターに行って話すということよりも、全然違う議会という普段中々接することがない人と話すということに関しては、非常に興味を持っている人も多いのではないかなとわたしは捉えたんですけども、ゆえに時期的なものはこれからにしても、そういう人たちもいますよということは頭に置いておくべきだなと思いますね。

**○副委員長（真家 功君）** そういう流れだといいですね。色々聞くとあんまり出る人いないんじゃないかなという人もいるからさ、だから心配になっちゃって。

宮内委員

**○2番（宮内勇二君）** どっちにしろ委員長がいないと話進まないと思うので、前回のときもお葬式入っちゃって休んで別日にして欠席で、今日も連絡なしで欠席でとなっちゃうと、こ

っちとしたら若手と年配というか、期別ごとにあわせてやっていくのかなと思っていたら全然違う考えをもっていて、そういうずれとかも生じて今日もないので、話合う必要性がないというか話し合うことがないのかなと。

○副委員長（真家 功君） どうしちゃったんだろう委員長。

○2番（宮内勇二君） 体調悪い。

○副委員長（真家 功君） 山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 議会報告会の件は今日話しても難しいのかなというところなんですけど、せっかく来たので条例の検証とかのところ、どの程度どのぐらいの期間でとか今日はここまで決められればいいなというのがあれば、事務局のほうからもし委員長から聞いているようなところがあれば、それを少しでも進めていければいいなと思います。

○副委員長（真家 功君） 事務局と我々が話したスケジュールも含めて、今後こういうふうにやるというのをいいかな。

須賀田議会事務局次長。

○議会事務局次長（須賀田千恵子君） それでは、検証のほうなんですけども、今日お配りしたように、委員長副委員長と事務局で、この前言われた肉付けということで文章のほうを修正させていただきました。実際にこちらを今度の議運のほうで、シートのほうをあげさせていただきたいと思っております。今まで全然検証については議運のほうには報告はしていないので中間報告ということで、この様式自体をあげさせていただいて、1回報告をさせていただいて意見をもらいたいと思っております。そうしましたらば、前にスケジュールのほうでもお示ししておりますが、この様式例えばホームページとかに掲載するときには、Dのほうでしたらば、いろんな市町村のほうを参考にしますと、ハイフンという形で他の意見のほうは載せない形のほうがほとんどですので、議運全協まではこのシートを使って皆さまに報告をしていきたいと思っております。ホームページはこちらDのほうはハイフンにして、その他の意見を除いた形で結果のみを載せて進めさせていただけたらなと思っております。もう一度この委員会でこのシートのままホームページのほうにアップしている町村もありますので、このままでよろしいか、それとも他の議会のほうでは、これプラス今までの経過とかメンバーとか、そういういろんな点を加えた報告書ということで、ホームページのほうにあげている議会のほうもありますのでやり方は色々だと思いますが、そちらのほうの決定、このシートを先ほどお話ししました形で公表するという形と、これに付け加えて今までの経過とか、そういうのを報告書として公表するのかを決めていただいて、進めていきたいなと思っております。近いところでは議

運のほうでこちらのシートをあげさせていただいて、委員長のほうから説明いただいて、今までの中間報告ということでやらせていただければと思っております。今回日付けがないんですけども、こちら修正したもので1回議運にあげてよろしいかということですが。

**○副委員長（真家 功君）** 議運のほうとの報告も重要なので、今回12月の議運に現在の中間報告を、このシートそのものを決定事項プラスこういう意見もあったというような全部のこのシートを説明しやすいようにあげていこうということでございます。そのほか決定事項をホームページに載せる場合には、決定事項だけを分かり易いように載せていこうと。この前委員長と話した中ではそういうふうになりました。それで今次長が言ったように、例えばこれを協議したメンバーであるとか、こういった経緯であるとかそういう説明事項というのは付け加えさせていただいて、これの検証の結果のみを載せていくのがいいのかなと思っております。この辺も次回委員長が来たときに、活性化委員会での決定事項というのをある程度議運のほうには報告してもらわなくちゃならないかなと思います。このように協議しているのは我々委員会なので、我々委員会で決定したことは議運のほうに報告してくださいと、ある程度認めていただく。意見としては聞きますが、今までの流れからすると我々委員会が進めていかなくてはならないかなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

**○副委員長（真家 功君）** 山崎委員。

**○5番（山崎晴生君）** 今日はこれで次の議運にかけてもいいかどうかというのをみんなではかればいいということですよ。内容的なところで今までのやつでこの網掛けしてあるやつが実際に載せる評価のところ、3条の1とかの下の部分の網掛けしてある部分に関しては1回再精査したときに票数が変わったとか、意見が変わったやつの意見が載っているということですかね、なるほど。ではこれをそのまま議運にあげるかどうか。これも委員長がうまく説明できるかどうかと思うのですが、うまく通れるかどうかというところもあると思うのですが、中々色々意見が入っているので、しっかりその辺議運に説明するときに分かり易いようにしていただければなというふうに思ひます。

**○副委員長（真家 功君）** 香取委員。

**○7番（香取憲一君）** 流れ的には検証が終わりまして議運にもあげて、先ほど次長からもありましたホームページにもあげて市民の皆さんから理想は色々厳しい意見も含めて、応援の意見も含めていろんな意見を出していただければ理想だと思いますので、意見に基づいて、検証結果に基づいて、市民の皆さんの意見を吸い得られたのであれば、それに対して今度こういうことをこれを改善するためにこういうことをしていきましょうよということを検討していく

ことが我々が、それを先頭に立ってやっていくことが我々の委員会の指名だと思うので、その先のところまで具体的にじゃこういうことをやっていきたいと思いますということが、みんなでいろんな意見を出し合って先を見て先を見てやっていくべきだなと感じましたね。

**○副委員長（真家 功君）** 今回 12 月 3 日が議運ですよね。シートを出すのは今回がはじめてということなので、このように活性化委員会は今ここまでまとめましたと、今後はこういうスケジュールで進めていきますということの報告もしながら、これを中間報告ということで委員長の方に説明してもらおうということで、よろしいでしょうか。

山崎委員。

**○5 番（山崎晴生君）** ざっと見た感じで一番上のところが最終の評価になっているんですけど、理由のところの文言がもう少し誤字とか言い回しが悪かったり、例えば 3 条の 2 のところ、反映させるよう努めるのが議員の責任であり務めている。努めているが一緒に 2 回きいたり、あとは 3 条の 4 とか政治的な意識を高める傍聴意欲に繋がる工夫が十分でない。というところも、意識を高め傍聴意欲に繋がる工夫が十分でないとか日本語的におかしいところがあると思うので、そこはよく精査したほうがいいと思います。これ議運にかけていただいて、今後たくさん出た意見をどういうふうに市民のほうに伝えるのか、そのまま結果だけを出すのかというところが次に公表する前にしっかりと委員会で詰めていけばいいんじゃないかと思います。

以上です。

**○副委員長（真家 功君）** 公表する前には再度協議が必要だと思いますよね、これについてはね。これもざっとやったからもう一度ね。他の人の目で見ると一番いいんだよね。山崎委員気が付いた点事務局へあとで言ってください。皆さんもよろしくお願いします。

他に皆さん意見ありましたらお願いします。



### 3. その他

**○副委員長（真家 功君）** 鬼田委員。

**○1 番（鬼田岳哉君）** その他で 3 つあって、1 つこの間山崎議員から自席での再質問答弁執行部の、あの話どうなったのかなと思うのと、是非是非やっていただきたいなと思っているんですけど。

**○副委員長（真家 功君）** これって議運の中でも話してないよね。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 今回もわたし再質問多いと思うので、そのほうが良いと思うのでよろしくお願ひしたいところです。

○副委員長（真家 功君） それってこういう意見もあるんですがということを議長に言っておいたほうが良いよね。議長にまだ言っていないよね。

○議会事務局次長（須賀田千恵子君） そうですね。

○副委員長（真家 功君） 議長退席しましたが、議長にその旨言っておきますね。

○1番（鬼田岳哉君） 2点目がタブレットの中に、是非アプリケーションを入れたいんですよ。例えばワードとか、エクセルとかそれ以外のアプリケーション、ただ会議だけに使うというのはもったいないので、色々今先例集とか要綱とかを見ると、議長にこういうアプリを入れますと提出して、そこから結構まどろっこしい手続きがあると伺ったんですけど、そういうアプリケーションだったり、タブレットの活用をもう少ししたいなと思うので、1つ提案をさせていただきます。

3つ目が、例えばこういう特別委員会、常任委員会のウェブ出席に関してなんですけど、災害とか育休とか基本条例の改革案にも入っていましたが、委員長がやむを得ない場合とか来れないときに、それを口実にしても困るんですけど、ウェブでもいいから参加できるようにそういうふうなことをやっていくのがいいのかなと思って、かすみがうら市議会では話をはじめまっているので、こういうのは活性化委員会で話が出せるのかなどうかというところです。

以上です。

○副委員長（真家 功君） いろんな会社もそうやっているから確かにね。今の意見については議長のほうに伝えたいと思います。

○1番（鬼田岳哉君） ありがとうございます。

○副委員長（真家 功君） 他にどうですか皆さん。今すごくいい意見ですね。

なければちょうど1時間ですが、今日は委員長欠席ということで申し訳なかったんですが、そういうことでそろそろ閉めさせていただきたいと思います。

今日決まった内容については委員長のほうに報告すると共に、今度の議会運営委員会に報告するという形にしたいと思います。皆さん今日はありがとうございました。お疲れさまでした。

午前10時53分 閉会